

SDGs達成に向けた取組チェックリスト

・期待レベルが「基本」の項目(黄色マーク項目)は、必須記載項目です。

【基本的な事項】

カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待 レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している	基本	社会	NTTドコモグループは「NTTドコモグループ人権に関する基本方針」に基づき、多様性を尊重し、全てのステークホルダーの人権を尊重する企業体質の確立をめざし、人権啓発推進体制を整備して取り組んでいる。					○			○		○							○	
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている	基本	社会	NTTドコモグループは、人権方針で「ハラスメントのない健全な職場環境づくり」を掲げ、グループ各社で連携した推進体制の整備と啓発活動を進めている。					○			○										○
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない	基本	社会	NTTドコモグループは、ワーク・ライフ・バランス重視のもと、社員の多様な働き方をサポートする制度・仕組みの多様化を進めている。								○										
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している	基本	社会	NTTドコモグループは、倫理方針において、民族・国籍・性別等による不当な差別や嫌がらせを排除し、日常のあらゆる場面で人権を尊重することを明記している。				○				○		○								
5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている	基本	社会	NTTドコモグループは、健康経営の取り組みの中で、労働災害の発生状況をKPIとして把握し、社員が安心して働き続けられる環境づくりを促進している。			○					○										
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している	基本	社会	NTTドコモグループは、健康経営を位置づけ、メンタルヘルス対策を含む施策を通じて、社員の心身の健康保持・増進に取り組んでいる			○															
7	【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている	基本	社会	NTTドコモグループは、「誰もが力を発揮できる環境」をめざし、ダイバーシティ推進に取り組んでいる(えるぼし認定・くるみん等の取り組みを推進)。					○			○		○								
8	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる	応用	社会	NTTドコモグループは、社員の生産性・創造性・モチベーション向上の基盤として健康経営を位置づけ、社長をトップとする推進体制で心身の健康保持・増進を推進している(健康経営優良法人認定等)。			○					○										
9	【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している	応用	社会、経済	NTTドコモグループは、AI・データ活用・セキュリティ等の分野別スキルに沿って全社員の基礎スキル習得を目指し、研修プログラム等により人材育成を進めている。				○				○	○									
10	【雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている	応用	社会、経済	NTTドコモグループは、多様な雇用・働き方を前提とした制度設計や雇用・処遇における公平性の確保を掲げている。								○		○								

様式第3号

カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待 レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	基本	環境	NTTDコムグループは、環境負荷低減に向けた資源循環の取組として「ケータイリサイクル」を実施している。											○	○		○				
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	基本	環境	NTTDコムグループは、「地球環境保全への貢献」の取組の中で、環境マネジメントにより事業活動の環境負荷低減(脱炭素等)を推進している。							○						○					
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	基本	環境	NTTDコムグループは、脱炭素社会の実現に向け、事業活動による環境負荷低減に取り組む方針を掲げている。							○					○	○					
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	基本	環境	NTTDコムグループは、サステナビリティ調達の一環で、製品含有化学物質の管理(法令・条例等への準拠要請や調査回答書提出等)を推進している。			○			○					○	○						
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境	NTTDコムグループは、倫理方針において「生物多様性の保全」を掲げ、事業との関わりを把握し将来世代に引き継ぐための取組を推進するとしている。						○									○			
16	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	応用	環境	NTTDコムグループは、環境負荷低減の活動を環境マネジメントの枠組みで推進している。						○												
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	応用	環境	NTTDコムグループは、グリーン調達において、取引開始時に環境マネジメントシステムの構築・運用状況等を「企業評価」として確認し、サプライチェーン全体で環境法令遵守と環境負荷低減体制の確立を図っている。			○			○	○					○	○	○	○			
18	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している	応用	環境	NTTDコムグループは、グリーン調達基準等において、環境保全に関する取り組み状況の公表・開示を含めた要請事項を示し、情報開示を推進している。												○						
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	応用	環境	NTTDコムグループは、環境負荷低減(脱炭素)に向けた環境マネジメントを推進している。							○							○				
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	応用	環境	NTTDコムグループは、サステナビリティ調達として、安全で環境負荷の少ない原材料・部品・製品を積極的に調達するグリーン調達を推進している。												○	○	○	○			
21	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	応用	環境	NTTDコムグループ倫理方針において3R(リデュース・リユース・リサイクル)による省資源を推進することを明記し、資源循環に取り組む方針を示している。						○					○	○	○	○	○			
22	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	NTTDコムグループ倫理方針により、ステークホルダーと適正な関係を保ち、贈収賄等の疑わしい行為に関与しないことを掲げている。																	○	
23	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	NTTDコムグループ倫理方針により、公正・透明・自由な競争と取引を行い、独占禁止法等の関連法規を遵守することを掲げている。																		○
24	【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている	基本	社会	NTTDコムグループ倫理方針により、企業機密情報の管理・保護とともに知的財産権を尊重し適切な取り扱いを徹底することを掲げている。									○	○								
25	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	社会	NTTDコムグループは、情報セキュリティポリシーで、情報管理委員会の設置、CISOの配置、社内規程整備、監査、教育、委託先管理等により情報資産(個人情報等)の適切な管理を行うと宣言している。																		○
26	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	応用	社会	NTTDコムグループは、サプライヤーと連携してサプライチェーンの透明性を確保し、紛争鉱物の不処用にに向けた取組を推進している。																		○
27	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害(低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等)の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)のための取組を要請している	応用	社会	NTTDコムグループは、人権、安全衛生、環境、公正取引・倫理、品質・安全性、情報セキュリティ等を含む事項をガイドラインで示し、適切な対応を行うこととしている。						○		○		○		○	○	○	○	○	○	○

カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待 レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
																							
製品・サービス	28 【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	経済	NTTドコモグループ倫理方針において、商品・サービスの開発に当たり品質と安全を最優先し、正確でわかりやすい情報提供を行うことを掲げている。			○									○							
	29 【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している	基本	経済	NTTドコモグループ倫理方針において、「お客さま第一」の視点で安全で価値ある商品・サービスを提供し、問い合わせに迅速かつ誠実に対応することを掲げている。									○										
	30 【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	応用	経済、環境	NTTドコモグループは、製品設計段階から環境影響を評価する製品アセスメント等を通じて環境負荷低減を図っている。							○					○	○	○	○				
	31 【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	応用	社会、経済	NTTドコモグループは、サステナビリティの取組として、研究開発・サービス創出による新たな価値提供と社会課題の解決に取り組むことを掲げている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
社会貢献・地域貢献	32 【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	基本	環境、経済	NTTドコモグループは、サステナビリティの取組として、お客さま・地域とのエンゲージメントや社会課題解決・地方創生に取り組むことを掲げている。				○					○		○	○		○	○			○	
	33 【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	応用	社会	NTTドコモグループは、サステナビリティの取組として、「dポイント・d払い寄付」など寄付を通じた社会貢献の仕組みを提供している。				○								○			○	○		○	
	34 【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用(地産地消、地産外商)を行っている	応用	環境、社会、経済	NTTドコモグループは、社会課題解決・地方創生の取組を掲げ、地域との連携を通じた価値創出に取り組む。									○	○		○	○	○					
組織体制	35 【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に十分浸透している	基本	社会	NTTドコモグループ倫理方針により、国内外の法規とその精神を遵守し、疑問点は上司やコンプライアンス相談窓口へ報告・相談することを掲げている。																	○		
	36 【内部管理体制】 ・経営理念(及びSDGsとの関係)・経営目標の社内への共有が行われている	基本	環境、社会、経済	NTTドコモグループは、「人権尊重・公正な事業活動の推進」の中で、コンプライアンス徹底や適正な組織統治、サプライチェーンのサステナビリティ推進に取り組むことを掲げている。									○	○								○	
	37 【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている	応用	社会	NTTドコモグループは、情報セキュリティポリシー等で、体制整備(委員会・責任者配置)や社内規程整備、監査・教育を行い、ルール遵守を徹底する仕組みを示している。																		○	
	38 【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている	応用	環境、社会	NTTドコモグループは、「人権尊重・公正な事業活動の推進」の枠組みで、人権尊重、コンプライアンス、サプライチェーン推進、組織統治等の取組を進めている。																		○	
	39 【リスクマネジメント】 ・法令遵守・環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている	応用	社会、経済	NTTドコモグループは、「人権尊重・公正な事業活動の推進」の中で、ビジネスリスクの早期発見と早期対処を基本方針としてリスクマネジメント強化に取り組むとしている。																		○	
	40 【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR(Corporate Social Responsibility)の取組を進めている	応用	環境、社会	NTTドコモグループは、ステークホルダーとともに事業を通じて社会課題解決と新たな価値提供に取り組む、「誰一人取り残さない」サステナブルな社会の創造に貢献することを掲げている。																		○	
	41 【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している	応用	社会	NTTドコモグループ倫理方針において、ステークホルダーと積極的に対話し、企業情報をわかりやすく公開して理解と信頼を得る努力を続けることを掲げている。																		○	○
	42 【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	応用	環境、社会、経済	NTTドコモグループは、設立当初より「災害対策3原則」(システム信頼性向上・重要通信の確保・通信サービスの早期復旧)を定め、災害に強い通信サービス提供に向けた対策を継続している。										○		○		○				○	

